

平成27年度一般会計予算

1,590億6千万円を可決

平成27年第1回定例会は、下記の日程により24日間の会期で開催しました。
市長が施政方針と新年度予算の概要を示し、これに対し各会派の代表者が総括
質疑を行いました。委員会での審査の後、議案71件は、いずれも原案のとおり
可決、同意しました。また、24人の議員が一般質問を行いました。

2/24	議案上程、市長施政方針	ほか
2/25	議案の提案説明	
2/26	総括質疑	*詳しくはP4
2/27・3/2～3/4	一般質問	*詳しくはP5～
3/9～3/12・3/16	委員会審査	*詳しくはP3
3/19	付託された議案等の委員長報告～議決	ほか

平成27年度 予算の主な内容 —市長施政方針より—

すべての学校の耐震化率を100パーセントに 24億6,694万円

小・中、特別支援学校、附属高校等の耐震補強工事を実施

農業の商品開発やPR活動などを支援 1億円

新品種や新商品の開発普及宣伝活動及び6次産業化等を総合的に支援

渋谷ヒカリエでシティプロモーションを開催 3,000万円

ビジネス誘致施策として、本市のブランド力向上のためのプロモーションを実施

上野三碑の世界記憶遺産登録を推進 700万円

世界記憶遺産登録実現に向けてPR活動を実施

放課後児童クラブの第3子以降の保育料を無料に 6,000万円

子育て支援として多子世帯の負担を軽減

高齢者あんしんセンターを26ヶ所に設置 3億9,520万円

お年寄りが相談に来る体制から、訪問する体制へ

24時間365日の小児救急医療体制を整備 6,000万円

市内医療機関の救急医療体制を整備

倉賀野古商家おもてなし館を開館 634万円

寄附を受けた古商家を改修し、中山道を散策する観光客の憩いの場として開館

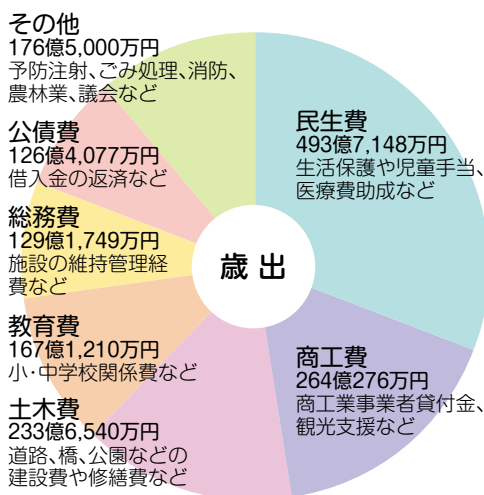
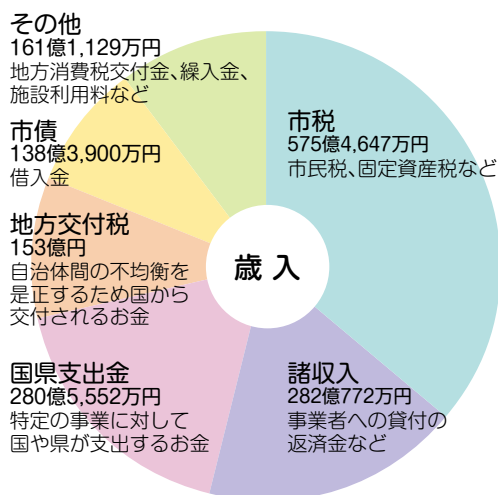
防犯カメラとごみステーション見守りカメラを設置 1,758万円

犯罪防止とごみの適正排出を目的に設置

観音山公園(カッパピア跡地)の整備 5億8,880万円

ドイツのケルナー遊具やプールを整備

一般会計予算歳入歳出



歳入・歳出額 1,590億6,000万円(前年比 2.5%増)

特別会計	予算額
国民健康保険事業	436億3,169万円
介護保険	308億3,949万円
牛伏ドリームセンター事業	1億1,803万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	7,418万円
後期高齢者医療	40億7,309万円
簡易水道事業	1億2,314万円
農業集落排水事業	1億5,352万円
駐車場事業	4億7,049万円
土地取得事業	8億3,579万円
計	803億1,942万円

企業会計	予算額
水道事業	101億9,564万円
公共下水道事業	144億3,385万円

新年度議案への討論

賛成

限られた財源を効率よく配分（新風会）

限られた財源をいかに効率よく、効果のある事業に配分していくかという選択と集中の視点を重視し、また、国の地財計画の伸びの2.3%に配慮し、市税の伸びと併せた絶妙なバランスのとれた抑制均衡型予算であり、大いに評価できる。子どもからお年寄りま

で元気で安心して暮らしている元氣の出る平成27年度予算であるため、原案どおり速やかに可決し、円滑に執行されるのが市政の安定や市民生活の安心・安全につながるものと確信している。
よって予算議案すべてに賛成する。

反対

住民福祉の増進が不十分（日本共産党）

くらしや福祉、子育て、教育の充実を求める市民要求に対して、全体的に十分に対応しているとは言えない。大型事業の豪華さを競う傾向や資材や人手不足によるコスト上昇で工事費が大きく膨らむことを懸念するとともに、学校教育費の無料化や安い特別養護

老人ホーム、根本的な公共交通の改善策などを求める。
全体として国の政治に追随しており、自治体本来の住民福祉の増進を図る役割が不十分である。また、国民健康保険事業、介護保険や後期高齢者医療の特別会計についても同意できない。

新年度予算以外の 可決した主な議案

太陽光発電の設置を許可制に

自然環境や景観を守るため、観音山・榛名湖周辺・箕郷梅林を特別保全地区に指定し、太陽光発電などの再生可能エネルギー発電設備の設置を許可制とする条例を制定

倉賀野古商家おもてなし館の設置条例

倉賀野古商家おもてなし館を開館するため、設置及び管理に関する条例を制定

委員会審査

新年度予算を各委員会で審査しました。
質疑・答弁の一部を掲載します。

総務教育常任委員会

質疑 中学生休日学習相談ステーションの内容と会場数は。

答弁 日曜日の午後に4時間程度、英語を中心とした学習相談を行い、各支所地域に1か所、旧市内に3か所の合計9か所を公民館等に設置する。

質疑 気になる子対策の対象となる幼稚園児の割合と1人当たりの補助額は。

答弁 きめ細かな支援を必要としている園児を約5%程度と捉え、1人当たりでは月額1万円程度と考えている。

市民経済常任委員会

質疑 ごみステーション見守りカメラの設置理由と内容は。

答弁 マナー違反や事業系ごみなどが頻繁に出され困っているとの話があり、小学校区に各1台と予備10台の計68台のカメラ設置を予定している。

質疑 プレミアム付商品券事業の内容は。

答弁 市内の商店やスーパーで利用できる500円券26枚綴りの商品券を1万円で販売し、プレミアム率30%、総額13億円を予定している。

保健福祉常任委員会

質疑 赤ちゃんと保護者に絵本を贈るブックスタート事業の実績と具体的な効果は。

答弁 参加者は平成24年度2,041人、25年度2,880人、26年度2月末2,683人となっており、保護者に好評でリピーターも増えている。

質疑 認知症初期集中支援推進事業の内容は。

答弁 専門スタッフとサポート医による支援チームが、6か月間集中支援を行い、適切な医療や介護サービスにつなげるものである。

建設水道常任委員会

質疑 スマートインターチェンジ周辺整備事業の内容は。

答弁 地区内を流れる井野川きょうりょうによる地域分断解消のため、橋梁工事を行う。

質疑 観音山公園（カップピア跡地）整備工事の内容と来年度の進捗予定は。

答弁 プール、管理棟、ケルナー広場及び周辺道路等の整備を行う。進捗率は84%となる予定である。

都市集客施設調査特別委員会

質疑 文化芸術センター建設事業の用地買収費と物件移転補償費の内容は。

答弁 建設敷地に隣接する2軒の費用である。

質疑 予算の中に備品等の項目がないが、どのように整備するのか。

答弁 現在の事業費には備品等を入れていないが、今後何を購入し、何をレンタルするのか、よく協議し精査したい。